

都市再生整備計画 事後評価シート

一身田寺内町地区

平成25年3月
三重県津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	三重県	市町村名	津市	地区名	一身田寺内町地区			面積	120.0ha
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	580百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 高質空間形成施設(・カラー舗装 ・側溝改修 ・ガードパイプ等の修景整備 ・景観に調和する水路景観整備 ・環濠の修景整備)											
		提案事業	環濠導水整備事業 / 歴史文化再発見事業(・歴史講座や手作り体験事業 ・専修寺境内を利用した伝統芸能・音楽鑑賞会の開催 ・寺内町の歴史や文化等にかかる啓発用冊子の作成 ・小・中・高・大学生の混成での寺内町1日研修) / 事業効果分析(・事業波及効果の計測と今後の取り組みの検討) / 地域活性化事業(・まちづくり情報・観光情報等の広報活動 ・河川等の浄化活動 ・小学校等と連携したまちづくり啓発活動 ・寺内町整備推進委員会(一身田地区まちづくり推進協議会内)への専門家派遣)											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	環濠導水整備事業				農業用水路との水利権調整及び常時導水の調整がつかなかったため				指標1に関係するが、目標数値は据え置く			
		新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(・側溝改修(寺町通り他) ・照明灯)				道路のカラー舗装との一体整備により、側溝改修、照明の更新をすることで道路美装化の効果を高めるため。				指標1に関係するが、目標数値は据え置く。		
			提案事業	道路(浜田長岡線交差点改良事業)				地区内への安全なアプローチ動線を確保するため。				指標3に関係するが、安全な歩行者ネットワーク確保のための事業であり、目標数値は据え置く。		
	交付期間の変更	当初	平成20年度～平成24年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更														

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	一身田寺内町の館の年間入館者数	人／年	9,893	18	11,000	24		12,236	○	あり ● なし	修景整備事業や歴史文化再発見事業の実施により、寺内町を訪れる人が増加し、一身田寺内町の館の年間入館者数が増加した。	H26.3
	指標2	一身田地区まちづくり推進協議会開催の会議への地区内住民の年間参加者数	人／年	109	17	200	24		64	×	あり ● なし	まちづくり推進協議会では、整備事業の推進にかかる地域住民の意見集約に重点が置かれ、事業内容確定後の会議開催が減少したことにより目標が達成されなかった。	H26.3
	指標3	一身田寺内町における歴史・文化関係のイベントの年間参加者数	人／年	30,090	18	33,000	24		33,000	○	あり ● なし	専修寺境内を利用した伝統芸能や音楽鑑賞会等を開催することで、これまで一身田寺内町を訪れたことがない人に対する地域の魅力発信などにつながり、新たな来訪者の掘り起こし、まちのにぎわいの創出などの効果を生み出している。	H26.3

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	一身田寺内町観光振興懇話会への住民の年間参加者数	人／年	110	20				280			一身田寺内町の観光振興に関わる諸課題に対する住民参加の場として機能する会議として定期的に開催され、多くの人数の参加により、住民意見の反映が見られた。	H26.3
その他の数値指標2													

4)定性的な効果発現状況	・地元の小学校と連携し、課外授業として一身田寺内町のボランティアガイドが講師となり、地域について学ぶ取り組みを実施している。 ・環濠や道路等の清掃活動を定期的に実施しており、また、カラー舗装などの修景整備が行われたことにより、環濠や道路等の公共空間に捨てられるゴミが減少するという効果が表れている。 ・地元の小学生、中学生、高校生、大学生の合同での研修視察(奈良県黒原市今井町)により、他の寺内町との比較により一身田寺内町の今後の方策を考える契機となっている。												
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		・小学校等と連携したまちづくり啓発活動 ・河川等の浄化活動 ・寺内町整備推進委員会への専門家の派遣 ・小・中・高・大学生混成での寺内町1日研修 ・歴史講座・手作り体験				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	・今後の課題として検討 ・地域活動として継続 ・まちづくりにおける課題に即した内容について専門家の派遣を検討		
											●	・地元住民を含めた研修の機会として継続 ・地域活動として継続		
			一身田地区まちづくり推進協議会内に「寺内町整備推進委員会」を設置				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地域住民の参画による継続的なまちづくりを推進するために継続して設置する。		

様式2-2 地区の概要

一身田寺内町地区（三重県津市）都市再生整備計画の成果概要						
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
○大目標：寺内町特有の歴史・文化をアピールできる環境整備を行い、寺内町を訪れる人々の増大を図り、居住者の地域に対する誇り、愛着を高める。 ・目標1 歴史資源を保全・活用した風情ある環境の再生と道路空間等の整備による住環境の向上 ・目標2 おもいやりとてなしの心をもった観光・交流の促進		一身田寺内町の館の年間入館者数	単位：人／年	9,893 H18	11,000 H24	12,236 H22
		一身田地区まちづくり推進協議会開催の会議への地区内住民の年間参加者	単位：人／年	109 H17	200 H24	64 H22
		一身田寺内町における歴史・文化関係のイベントの年間参加者数	単位：人／年	30,090 H18	33,000 H24	33,000 H23

まちづくりの目標

- 大目標：寺内町特有の歴史・文化をアピールできる環境整備を行い、寺内町を訪れる人々の増大を図り、居住者の地域に対する誇り、愛着を高める。
- ・目標1 歴史資源を保全・活用した風情ある環境の再生と道路空間等の整備による住環境の向上
- ・目標2 おもいやりとてなしの心をもった観光・交流の促進

目標を定量化する指標

指標項目	単位	従前値	目標値	評価値
一身田寺内町の館の年間入館者数	人／年	9,893 H18	11,000 H24	12,236 H22
一身田地区まちづくり推進協議会開催の会議への地区内住民の年間参加者	人／年	109 H17	200 H24	64 H22
一身田寺内町における歴史・文化関係のイベントの年間参加者数	人／年	30,090 H18	33,000 H24	33,000 H23

基幹事業（高質空間形成施設）

- ・道路のカラー舗装、側溝改修
- ・ガードパイプ等の修景整備
- ・水路景観整備
- ・環濠の修景整備

関連事業 公共下水道事業

提案事業（地域創造支援事業）

- ・歴史文化再発見事業
- ・専修寺境内を利用した伝統芸能・音楽鑑賞会の開催

提案事業（まちづくり活動推進事業）

- ・地域活性化事業
- ・まちづくり情報・観光情報等の広報活動
- ・寺内町整備推進委員会（一身田地区まちづくり推進協議会内）への専門家の派遣

提案事業（事業活用調査）

- ・事業効果分析

提案事業（まちづくり活動推進事業）

- ・地域活性化事業
- ・小学校等と連携したまちづくり啓発活動

提案事業（地域創造支援事業）

- ・歴史文化再発見事業
- ・小・中・高・大学生混成での寺内町1日研修

凡例

- 計画区域
- 鉄道
- 基幹事業：道路・高質空間形成施設
- 提案事業：まちづくり活動推進事業
- 地域創造支援事業
- 事業活用調査
- 関連事業
- 主要施設

まちの課題の変化

- ・地域住民等が参加する清掃活動を実施し、河川や環濠の浄化が図られた他、道路のカラー舗装化や、環濠沿いのガードパイプを景観配慮型のもので修景整備をするなど、風情ある景観形成が図られた。
- ・専修寺境内でのコンサートや、レトロ映画祭など各種イベントの実施等による集客、映画ロケ地等の解説版の設置などにより、地域の魅力の向上や情報発信が図られた。
- ・地元住民や学生が参加する清掃活動の実施や小中高大の学校と連携した1日研修等により、世代間の交流が促進されて地域活力の向上し、寺内町に対する住民理解度の向上が図られた。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

- ・関係組織（ぼっとガイドの会、観光振興懇話会等）との連携により、寺内町の歴史・文化などの地域資源についての解説版や誘導サイン等を利用した継続的な情報発信活動に取り組む。
- ・魅力ある事業展開の継続や、「一身田寺内町の館」の地域の魅力発信の拠点としての活用。
- ・地元の小中学校や高校・大学等との連携や、地域住民が主体となった組織の活動が継続されるよう担手の確保・育成に努める。
- ・河川や環濠の水量増加や水質改善の方策について、関係者との検討・協議を進めていく。
- ・まちづくり活動への参加者、協力者の増加や、活動組織の強化など、地元が主体となった活動が展開されるよう、担手の育成や啓発を図り、行政は側面的な支援を行う。
- ・景観計画による重点地区の指定を検討するなど、歴史的建造物やまちなみを後世に継承していくための仕組みづくりを検討・協議していく。